

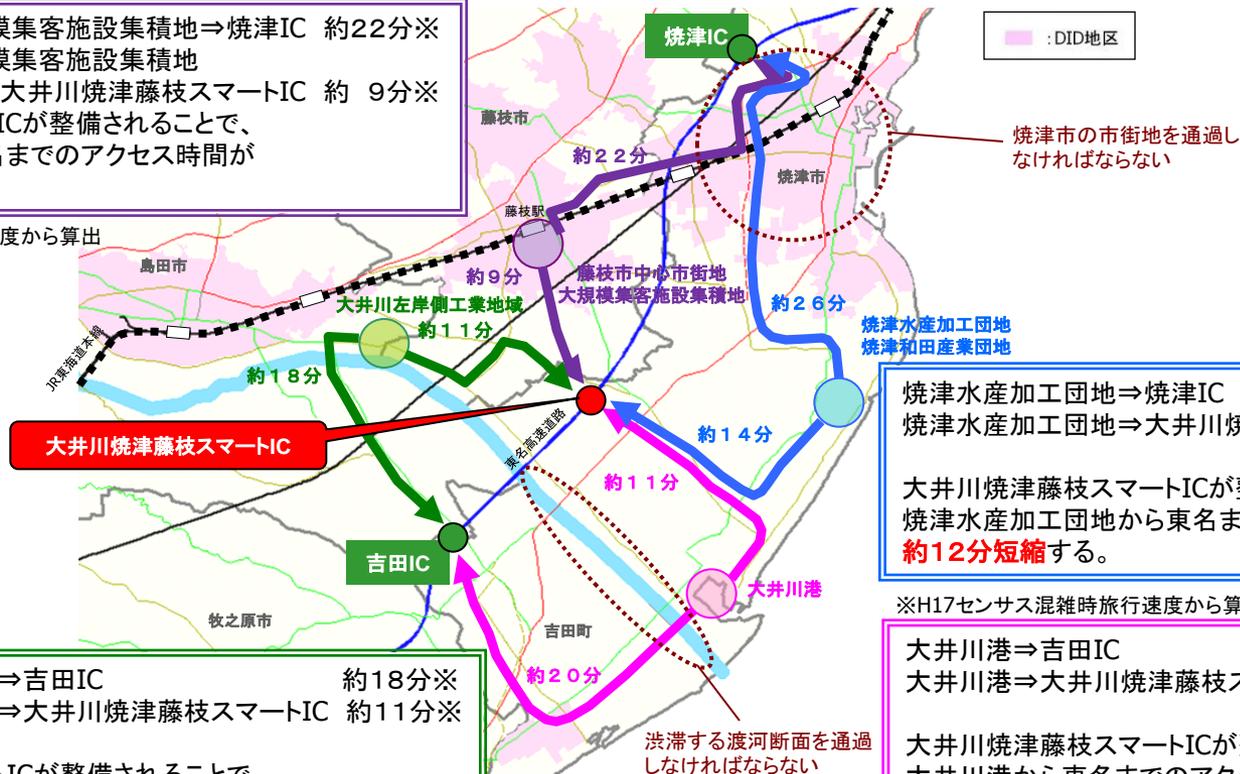
# ICの設置により期待される整備効果

## 東名までの利便性向上、それに伴う産業の活性化

- ・東名までのアクセス性が向上し、工業団地、大井川港等の物流が効率化(輸送コストの縮減)
- ・既存企業の産業活動の活発化、新設IC周辺における企業立地ポテンシャルの向上
- ・藤枝市中心市街地の活性化
- ・大井川港における取扱貨物量の拡大

藤枝市中心市街地大規模集客施設集積地⇒焼津IC 約22分※  
 藤枝市中心市街地大規模集客施設集積地  
 ⇒大井川焼津藤枝スマートIC 約9分※  
 大井川焼津藤枝スマートICが整備されることで、  
 藤枝駅南部地域から東名までのアクセス時間が  
**約13分短縮**する。

※H17センサス混雑時旅行速度から算出



焼津水産加工団地⇒焼津IC 約26分※  
 焼津水産加工団地⇒大井川焼津藤枝スマートIC 約14分※

大井川焼津藤枝スマートICが整備されることで、  
 焼津水産加工団地から東名までのアクセス時間が  
**約12分短縮**する。

※H17センサス混雑時旅行速度から算出

大井川港⇒吉田IC 約20分※  
 大井川港⇒大井川焼津藤枝スマートIC 約11分※

大井川焼津藤枝スマートICが整備されることで、  
 大井川港から東名までのアクセス時間が  
**約9分短縮**する。

※H17センサス混雑時旅行速度から算出

※H17センサス混雑時旅行速度から算出

# ICの設置により期待される整備効果

## 交通混雑の緩和、それに伴う周辺環境の改善

- ・大井川左岸に大井川焼津藤枝スマートICができることで、非効率な交通が削減
- ・東名の利便性が向上することで交通混雑が緩和し、自動車交通からのCO2排出量が削減

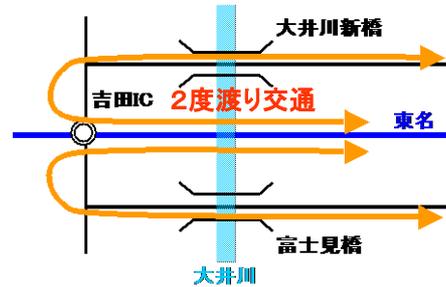


現況では、大井川橋交差点  
(静岡方向)において2.3km  
の渋滞が発生

※H18渋滞長調査結果

### ● 吉田IC関連の渡河交通の変化

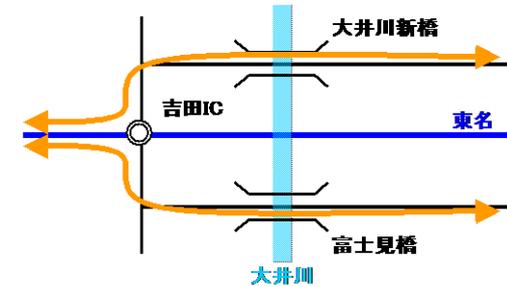
#### <東京方面>



H27年度IC未整備時 約1,700台/日  
H27年度IC整備時 約100台/日

(約1,600台/日の減少)

#### <名古屋方面>



H27年度IC未整備時 約2,700台/日  
H27年度IC整備時 約700台/日

(約2,000台/日の減少)

地球温暖化の要因であるCO2は  
約4,800t/年削減

= 森林約460haのCO2吸収量に相当  
= 東京ドーム約97個分の面積に相当



※植林によるCO2吸収量は10.6t-CO<sub>2</sub>/ha/年とした

(出典: 「土地利用、土地利用変化及び林業に関するグッド・プラクティス・ガイダンス (優良手法指針)」)

※東京ドームの面積は46,755m<sup>2</sup>=4.6755ha (東京ドームシティ公式サイト「施設概要」より)

# ICの設置により期待される整備効果

## 第三次救急医療施設までのアクセス時間の短縮

・東名までのアクセス性が向上し、第三次救急医療施設までのアクセス時間が短縮

### ●藤枝市中心市街地大規模集客施設集積地から静岡赤十字病院までのアクセス時間

- 大井川焼津藤枝スマートIC無(吉田IC経由) 約54分※
- 大井川焼津藤枝スマートIC無(焼津IC経由) 約46分※
- 大井川焼津藤枝スマートIC有 約39分※

大井川焼津藤枝スマートICが整備されることで、藤枝市中心市街地大規模集客施設集積地から第三次救急医療施設(静岡赤十字病院)までのアクセス時間が**約7分短縮**する。

※H17センサス混雑時旅行速度から算出

### ●大井川左岸側工業地域から静岡赤十字病院までのアクセス時間

- 大井川焼津藤枝スマートIC無(吉田IC経由) 約50分※
- 大井川焼津藤枝スマートIC無(焼津IC経由) 約58分※
- 大井川焼津藤枝スマートIC有 約40分※

大井川焼津藤枝スマートICが整備されることで、大井川左岸側工業地域から第三次救急医療施設(静岡赤十字病院)までのアクセス時間が**約10分短縮**する。

※H17センサス混雑時旅行速度から算出

### ●大井川庁舎から静岡赤十字病院までのアクセス時間

- 大井川焼津藤枝スマートIC無(吉田IC経由) 約45分※
- 大井川焼津藤枝スマートIC無(焼津IC経由) 約47分※
- 大井川焼津藤枝スマートIC有 約34分※

大井川焼津藤枝スマートICが整備されることで、焼津市役所大井川庁舎から第三次救急医療施設(静岡赤十字病院)までのアクセス時間が**約11分短縮**する。

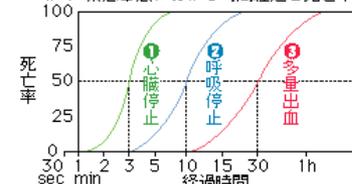
※H17センサス混雑時旅行速度から算出

・Uターンしなければならない  
・渋滞する渡河断面を通過しなければならない

第三次救急医療施設  
静岡赤十字病院

<カーラーの救命曲線>

(%) 緊急事態における時間経過と死亡率の関係



- ① 心臓停止後  
3分で約50%死亡
- ② 呼吸停止後  
10分で約50%死亡
- ③ 多量出血後  
30分で約50%死亡

資料) M. Cars 1981, 「カーラーの曲線」より

(国土交通省HPより)